

写真家の父ちゃんが、2歳の息子にあてた
旅先からの手紙

父ちゃんから
の手紙 ⑥

Letter from
Dad



林太郎へ

父ちゃんの大好きな場所があります。鉄工所てつこうじょです。昔、家の近くにも小さな鉄工所がありました。建物全部がさびてしまったような色をしていて、扉のすきまから見える工場の中はいつも真つ暗。でもときどき、ぴかっと雷のような青い光が工場の中を照らします。散らばる鉄の塊。全身を覆い隠して働く人たち。そんな鉄工所を見るのが好きで、父ちゃんをよく工場をのぞきました。

今日、父ちゃんは徳島県阿南市あなんの鉄工所に来ています。ヘルメットをかぶり、鉄板の入った重たい靴を履いて、工場の中の写真を撮りました。硬い鉄を切ったり、くっ付けたりして、大きな機械が次々と出来上がっていきます。ここで働くおじさんたちは、まるで青い光を放つ魔法使いのようでした。

公文健太郎 (くもん けんたろう)

写真家。1981年生まれ。国内だけでなく、ネパールなど海外の被写体をテーマに作品を撮り続け、写真集やエッセイ、写真展などで発表している。2児の父。<http://www.k-kumon.net/>